

# 県立農業大学校に学んで

— 座談会 巣立つ第一期生130人 —

県立農業大学校が開校され本年三月二十八日には第一回の卒業生を送りだしました。

ここには農学科（農産、い業、茶業、園芸、果樹、蚕業、農業団体経営）の各コースと畜産学科（酪農、肉用牛、養豚）の二学科が取り入れられ、この学部で二年間勉学に励んだ学生が県内各地域の農業後継者として巣立ちました。そこできょうは、緑に囲まれた学園生活、今後の農業経営に対する抱負などについて、副校長、先導農家の方、卒業生代表三人のかたがたにお集りいただき話しあってもらいました。

- |                |          |
|----------------|----------|
| 卒業生（横島町）       | 後藤 照美 さん |
| 卒業生（清和村）       | 梶原 哲 さん  |
| 卒業生（東陽村）       | 沢村 修治 さん |
| 自営農業者<br>（旭志村） | 大賀 慶一 さん |
| 農業大学校          | 井 一博 副校長 |

## すばらしい環境

井 最初に農業大学の特色についてお話しします。農業大学校というのは一般の大学とは違います。一般の大学というのは学校教育法に基づき設置されたものですが、本校は農業改良助長法に基づいて設置されたものです。

高等学校を卒業した生徒を対象にしています。

農林省と県とが共同事業で農業の後継者を育てることがねらいです。特定の目的のもとにつくられた大学だということですから。従って実際農業をやる上での知識と、農家に帰って役立つ技術を得る——実学をねらいとした教育が中心です。

しかし、今からの農業人というのは、単に農業の知識だけで良いわけではなく、幅広い教養を身につけさせる学問も学科の中に取り入れています。例えば、農学科のほかに一般教養学科として法学、民法、商法、倫理、経済、社会学、語学としての英語、農業気象、そのほか、一般社会人としての教養を高めるための色々の学科が行われています。

現在、修学コースとして十コースあり

ます。農産、い業、茶業、園芸、果樹、養蚕の各コース。農学科の中には、特別な学科として団体経営コースというものがあります。農業協同組合の職員を養成するのがねらいです。そのほか、畜産学科に酪農、肉用牛、養豚の三つのコースがあります。

本学の特色として全寮制があります。日常生活を通じて豊かな人間関係をつくり、社会人としての人格を学びとるということに重点を置いています。

本校は、すばらしい環境に恵まれています。黒石原といわれる菊池台地の一角です。県立畜産試験場と隣接して昭和五十三年に開校しました。面積は約十九ヘクタール、そのうち農場が十二ヘクタール、農場には、水田、牧草畑、野菜、果樹、桑、茶、い草のほか、畜舎、温室などの教育施設が整っています。施設も全国唯一のすばらしい施設で、俗に日本一の農業大学校であると言われています。

特にこの土地は、かつて農聖と言われた松田喜一先生が開拓の第一歩を印されたところです。いわゆる松田農魂の発祥の地でもあります。古老の話によりま

